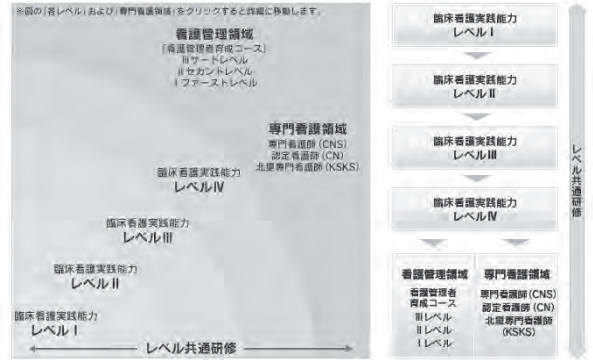


看護職の育成と ノンテクニカルスキル

北里大学病院
別府 千恵

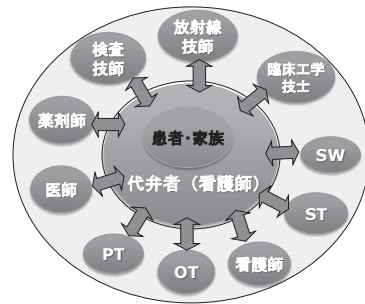


クリニカルラダーシステム 看護師のエンカレッジ (励ます・勇気づける・承認する)



看護に求められていること

- ◆看護職は患者の一番身近にいる医療専門職
- ◆看護職には患者を取り巻く事象をマネジメントする能力が求められる
- ◆看護職は、患者のために問題を解決するために看護チームを動かし、医療チームの中に影響力を及ぼす
- ◆患者の身近にいる、ジェネラリストが最重要



病院で365日・24時間
常に患者のそばにいる看護師



院内研修で学ぶノンテクニカルスキル

看護部研修

- クリニカルラダーレベルⅠ (新人看護師研修)
 - メンバースhip
 - 多重課題シミュレーション
 - 報告・連絡・相談
- クリニカルラダーレベルⅡ
 - リーダーシップ初級編
 - リーダーシップ中級編
- クリニカルラダーレベルⅢ
 - リーダーシップ上級編
 - 実践に生かせる看護理論 (特に人間関係理論)
- レベル共通
 - アサーティブコミュニケーション研修
 - 医療現場における看護倫理研修
 - フィジカルアセスメントアドバンスコース

院内研修 (特に医療安全研修)

- KYT (危険予知) トレーニング
- RSTによる急変事例の振り返り研修
- チームコミュニケーション研修 (導入編・実践編) など



アサーティブ・コミュニケーション研修

- ◆「アサーティブ」は、もともと「自己主張」という意味であり、人権思想を土台に持ち、自分も相手も尊重しながら自分の意見や価値観を伝え、対等に交渉できるコミュニケーションの方法論である。
- ◆他者とよりよい関係を築けることが重要であるが、日々の対人関係で悩みやストレスを感じている者は多い。そこで本研修では、これまでの自己のコミュニケーションの傾向に気づき、アサーティブという新たなコミュニケーションを学ぶことで、気持ちを楽にチームの一員として仕事ができることをねらった。



フィジカルアセスメント アドバンスコース

〈研修の内容〉

- ◆呼吸・循環・脳神経・消化器の4つの領域について講義を行う。
- ◆その後4つの領域のシナリオでシミュレーション演習を行う。
- ◆シミュレーション演習では、研修生がリーダー・メンバー役割をとり、事例を展開する。フィジカルアセスメントと状況判断SBAR (Situation Background Assessment Recommendation) を用いている。
- ◆その後事例のディブリーフィングを行い、それを活かして異なる領域のシナリオでシミュレーションしている。



コンピテンシーとは

- ◆ある職務または、状況に対し、基準に照らして効果的、あるいは卓越した業績を生む原因としてかかわっている個人の根源的特性
- ◆保有能力が高くても、行動して成果を出していなければ、コンピテンシーを有しているとは言えない

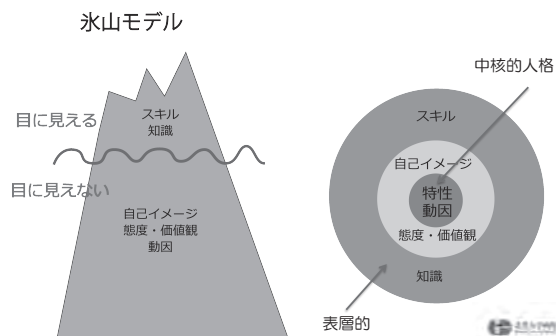


成果としての能力

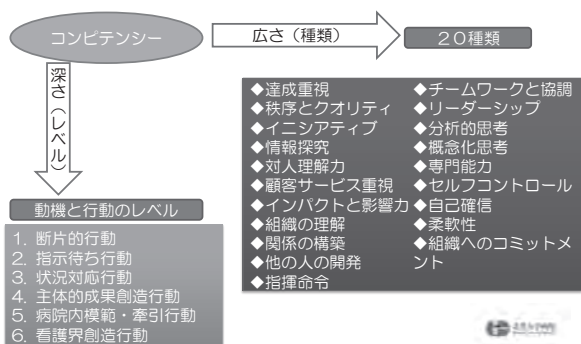
- ◆知識：関連する事実を知っていること
- ◆スキル：訓練によって実際に体現できる技能
- ◆メタスキル：作業の状態を認識（モニタリング）し、何らかの変化があれば修正（コントロール）する知識や技能
- ◆態度：対象・人・事象に対する個人的行為の選択に影響を及ぼす内面の状態



コンピテンシーのイメージ



コンピテンシーの体系



コンピテンシーのスケール

レベル	顧客サービス重視
-3	患者の悪口を言う。結果が出なかったときに相手を非難する。
0	患者のニーズや質問に対し、型どおりの答えをするだけで、患者の潜在的なニーズや課題を探ろうとしない。あるいは質問の背景を探ろうとしない
1	患者のニーズや質問に対し、要請や不平などを最後までフォローする。患者に進捗状況を最後まで伝える。しかし、患者の基本的課題や懸念にまで踏み込まない
6	患者の表面的なニーズの裏にある、本当のニーズを掴み取り、そのニーズを満足させるサービスを提供できる



支援・サービスに従事する者の コンピテンシーモデル（重要度順に）

インパクトと影響力	信頼を築く。相手に合ったプレゼンをする。ユーモアやゼスチャーを使う。
他の人たちの開発	個々のニーズに柔軟に対応する。革新的指導法を用いる。可能性を信頼する。
対人関係理解	他の人の問題に時間を割く。相手のムードや感情、振る舞いに敏感に反応する。相手の興味やニーズを理解する
自己確信	自分の能力と判断に対する信頼。問題や失敗に責任を取る。上司に質問し提案する。
セルフ・コントロール	感情を抑える。不適切な介入を避ける。ストレス耐性。
その他の個人的効果性	正確な自己評価。失敗から学ぶ。自分に使命を課す。
専門的能力	プロフェッショナルな知識を培い、駆使する。

